

# 大分大学同窓会連合会 機関紙 創刊号

平成27年11月1日発行

【事務局】  
大分大学産学連携推進機構 研究・社会連携部社会連携推進課内  
〒870-1192大分市大字旦野原700番地 TEL:097-554-7513/FAX:097-554-7740  
E-mail:dosoren@oita-u.ac.jp HP:http://www.alumni.oita-u.ac.jp/



## 大分大学同窓会連合会会則

- (名称)  
第1条 本会は、大分大学同窓会連合会という。
- (目的)  
第2条 本会は、第4条に規定する会員間の交流、連携を推進することにより、国立大学法人大分大学(以下「大分大学」という。)の卒業生等の交流、親睦を図り、併せて大分大学の発展に寄与することを目的とする。
- (事業)  
第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。  
① 会員間の交流、連携及び卒業生等の交流、親睦の推進  
② 大分大学との連携、協力の推進  
③ その他本会の目的にそつた事業の実施
- (会員)  
第4条 本会は、次に掲げる大分大学関係の各同窓会を会員とする。  
① 豊友会 ② 一般財団法人四極会  
③ 玉樹会 ④ 桜樹会  
⑤ 翔工会 ⑥ 九峰会
- (役員)  
第5条 本会に、次の役員を置く。  
① 会長 1人 ② 副会長 1人  
③ 理事 7人 ④ 監事 2人
- (役員選任)  
第6条 会長、副会長は、理事の互選により選出する。  
2.理事は、第4条各号の同窓会の会長及び大分大学理事(社会連携担当)をもって充てる。  
3.監事は、役員会において選任する。
- (役員任務)  
第7条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。  
2.副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

- 3.理事は、本会の運営に当たるとともに、各同窓会との連絡調整を行う。  
4.監事は、会計の執行状況の監査を行う。
- (役員任期)  
第8条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、役員に欠員が生じた場合の後任の役員任期は、前任者の残任期間とする。
- (名誉会長及び顧問)  
第9条 本会に、名誉会長及び顧問を置くことができる。  
2.名誉会長及び顧問は、会長が委嘱する。
- (役員会)  
第10条 本会に役員会を置き、第5条各号に掲げる役員をもって組織する。  
2.役員会は、次に掲げる事項を審議する。  
① 会員の入会に関する事項  
② 役員選任に関する事項  
③ 事業計画及び事業報告に関する事項  
④ 予算及び決算に関する事項  
⑤ 会則の改廃に関する事項  
⑥ その他会長が必要と認める事項  
3.役員会は、毎年度1回会長が招集し、会長がその議長となる。ただし、会長が必要と認めるときは、臨時の役員会を招集することができる。  
4.会長に事故があるときは、副会長がその職務を代行する。  
5.役員会は、役員過半数が出席しなければ、議事を開き、議決をすることができない。
- (経費)  
第11条 本会の経費は、会員の分担金及びその他の収入をもって充てる。  
2.会員の分担金の割合等は、別に定める。  
3.本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

- (監査)  
第12条 会長は、会計年度ごとに決算書を作成し、監事の監査を受けなければならない。
- (事務局)  
第13条 本会に、その事務を処理するため、事務局を置く。  
2.事務局は、大分市大字旦野原700番地に置く。
- (雑則)  
第14条 この会則に定めるもののほか、大分大学同窓会連合会の運営に関し必要な事項は、役員会の議を経て会長が別に定める。
- 附則  
この会則は、平成27年4月1日から施行する。

### 大分大学同窓会連合会役員

役員名	氏名	選出母体等
会長	園田 和 孝	
副会長	河 野 義 久	
理 事	園 田 和 孝	豊友会会長
	石 川 公 一	四極会会長
	河 野 義 久	玉樹会会長
	古 田 佳 代 子	桜樹会会長
	松 尾 孝 美	翔工会会長
	安 東 千 秋	九峰会会長
	越 智 義 道	大分大学理事
監 事	飯 田 正 伸	四極会副会長
	戸 高 孝	翔工会副会長

### 大分大学同窓会連合会顧問

顧問	氏名	選出母体等
	北 野 正 剛	大分大学長

## 同窓会連合会 会長挨拶 園田和孝



先般開催されました役員会におきまして大分大学同窓会連合会の会長をお引き受けすることとなりました園田和孝でございます。

任期中は、皆様方のご協力・ご支援をいただき、重責ではございますが、精一杯その職を務めたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。さて、大分大学同窓会連合会設立につきましては、平成22年度から、大分大学と6つの同窓会で組織する連絡協議会を立ち上げ、関係者間で協議を重ねてまいりました。その結果、昨年10月の同窓会会長会議において連合会設立の最終合意が得られ、本日を迎えることとなりました。大分大学同窓会連合会設立に向け、各同窓会長様をはじめ各同窓会事務局の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして心からお礼申し上げます。大分大学同窓会連合会は、会則にもうたわれていますように6つの同窓会を会員とする連合組織であります。各同窓会がこれまで独自に行ってきた活動は今後とも引き続き行っただきながら、連合会として個別同窓会の枠を越えた合同事業を実施するなど、各同窓会の連携強化に取り組んでいきたいと思っております。本日やと産声を上げた組織でございますので、今後この連合会を発展させていくためには、各同窓会の方々のお知恵を拝借し、また、大学とも十分ご相談申し上げながら連携を密にして運営に当たる必要があると考えておりますので、ご協力・ご支援をお願い申し上げます。本日の同窓会連合会設立を機に、学部等の枠を越えて大分大学の卒業生・修了生の交流が一層活発となり、更には、愛校心が醸成されることを期待するとともに、大分大学同窓会連合会として大分大学の更なる発展に寄与してまいりたいと考えております。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。以上簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

(平成27年4月1日)

## 大分大学 学長祝辞 北野正剛



学長の北野でございます。

はじめに、本日、大分大学同窓会連合会が設立されたことを心からお祝い申し上げます。各同窓会長様はじめ関係者の皆様のごこれまでのご努力に対し心から敬意を表します。また、私は、連合会の顧問を委嘱されたので、連合会の円滑な運営に及ばずながらお手伝いさせていただき所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。さて、本学は、平成15年10月に、旧大分大学と大分医科大学が統合し、大分県内唯一の国立大学となり、平成16年4月に国立大学法人へと移行いたしました。本学には、これまで学部・学科・研究科ごとに6つの同窓会があり、それぞれの同窓会で積極的な同窓会活動が独自に展開されておりました。平成17年度からは、毎年、大学と同窓生の皆様や名誉教授の皆様との交流会を開催し、大学と同窓会並びに各同窓会との連携・協力の増進に取り組んでまいりました。

さらに、昨年度は、恒例の大学開放イベント・学園祭にあわせ、懐かしい母校の現状を直接同窓生の皆様にご覧いただく「ホームカミングデー」を実施し、ご好評をいただきました。こうした取り組みを重ねながら、この度、「大分大学同窓会連合会」が設立されたことは、本学にとりまして新たな後援組織が誕生することとなり、誠に心強く、大変ありがたく存じております。今後とも、連合会と十分ご相談しながら連携を密にし、その運営にできる限りのお手伝いをさせていただきたいと考えております。これを契機に、本学卒業生等の交流と親睦が一層促進されることを期待するとともに、併せて本学の今後の発展に更なるご支援・ご協力をいただきますよう改めてお願い申し上げます。以上簡単ではございますが、同窓会連合会設立に当たってのご挨拶とさせていただきます。

## 大分大学ビジョン 2015

### 前文

大分大学は、その使命を、大学憲章(基本理念)において「人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに、地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し、人類福祉の向上と文化の創造に寄与する。」と位置付けています。その使命達成のため、今後6年間(第3期中期目標期間)を見据えたビジョンを策定します。

地方の時代、地方の創生が我が国の最も重要な課題とされる中、大分県とそれを取り巻く地域が抱える課題に向けた取組に対して、中核的拠点である本学が最大限のコミットメントを行います。これを達成するため、「社会が求める高い付加価値をもった人材の養成」、「地(知)の拠点としての機能の高度化」、「新時代のガバナンス体制の構築による戦略的経営の実現」という3つのビジョンを掲げ、以下の観点からその推進を図っていきます。

- ◆ 自立的・創造的に社会に貢献し、次世代を生き抜く力を持った人材の育成を行う。
- ◆ 時代や社会のニーズ等を踏まえた不断の大学改革・教育研究組織の見直しを行う。
- ◆ 人口減少・超高齢社会を見据え、中核的拠点として、地域の教育・福祉・医療・産業などの各分野における課題解決に貢献する。
- ◆ これまでの産学官連携等の地域との連携を深化させ、本学がもつ教育・研究成果や様々な資源を活用し、社会にイノベーションをもたらすような「地域における知の創造」の実現を図る。
- ◆ 大学としての社会的責務を果たすための戦略と組織を構築し、高度な経営を進めていく。学長のリーダーシップの下、迅速かつ的確な組織としての意思決定を実現するため、新たなシェアードガバナンスを構築する。
- ◆ ダイバーシティ社会を実現する大学運営を目指し、女性教職員の活躍推進を図る。

具体的な取組は、このビジョンに則して、第3期中期目標・中期計画を策定し、その実現を図ります。本学は、このビジョンを社会に提示し、その役割を果たしていきたいと考えます。

2015年3月 大分大学長 北野 正剛

## 大学最新情報

- ① 「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の大学に決定。
- ② 福祉健康科学部の設置決定(平成28年度)
- ③ 教育福祉科学部を教育学部へ改組決定。(平成28年度)
- ④ 教職大学院の設置決定(平成28年度)

## 連合会設立経緯

大分大学は、大分大学の現状等について同窓生に報告するとともに、大分大学に対する意見・提言をいただく場を設け、同窓生と大学との絆を深めることにより、協力・連携関係を築き、併せて同窓会相互の交流を推進することを目的として、平成17年12月から、同窓生との交流会を開催して来りました。同窓生との交流会は、大学と6つの同窓会(豊友会・四極会・玉樹会・桜樹会・翔工会・九峰会)の共催であり、案内の発送等同窓会の協力が不可欠でありました。また、平成20年度からは二巡目ということで、前回までと趣向を変えて、著名な同窓生の講演会や学生代表の現状報告を企画し今日に及んでいます。そしてこの度、大分大学同窓会連合会の設立が実現しました。



## 連合会各同窓会会長挨拶 (敬称略)

### ■豊友会 会長 園田 和孝 (昭和34年3月卒業)

大分大学教育福祉科学部は明治9年(1876年)、大分県師範学校創立に始まり、制度改革により幾度かの改組や学部名称変更を行い、平成11年(1999年)に現在の名称と組織になりました。同窓会も誕生して120年の伝統を誇り、その間母校の変革に呼应しながら組織強化を図り、同窓の絆を確かめ深めてきました。

これからは、我が同窓会を一層継続発展させるために同窓会連合会と連携しつつ、会員の相互交流や諸連絡、発信の共通理解を図る中で、同窓の絆や意志の結集を深めることができれば幸甚であります。皆様のご健康、ご多幸を祈念します。

### ■四極会 会長 石川 公一 (昭和40年3月卒業)

大分大学同窓会連合会機関紙の創刊に当たり、四極会(「経済学部同窓会」)を代表して、ご挨拶申し上げます。四極会では、既にここ数年来、45の県内外の各支部総会に、教育福祉科学部などの他学部の卒業生をお招きし、交流を深めていくという動きが出てきています。まだ一部の支部での動きではありますが、毎年、着実にその数は増えています。同窓会連合会の発足を契機に、同窓会活動をより一層活性化するために、今後、学部間の垣根を越えた、このような支部レベルにおける交流を盛んにし、積み重ねていくことも、重要ではないかと考えられます。なお、ここでひとつの提案ですが、同窓の絆をより深めるよすがのひとつとして、「大分大学同窓会連合会」あるいは「大分大学同窓会連合会機関紙」(「いかにも長い!」)の愛称を決めたいかがでしょうか。

### ■玉樹会 会長 河野 義久 (昭和63年3月修了)

本年4月に大分大学6学部、研究科の連携を深めるため、大分大学同窓会連合会が発足しました。大分大学医学部同窓会『玉樹会』北九州支部の設立には、経済学部同窓会北九州四極会のお力添えを頂きました。これから同窓会相互の連帯がより一層強いものとなり、大分大学が益々発展する事を祈念しています。来年の4月には福祉健康科学部が開設されます。医学部医学科、看護学科、教育福祉科学部、福祉社会科学研究科の連携により、世界の福祉社会をリードする学部となるよう期待しています。

### ■桜樹会 会長 古田 佳代子 (平成10年3月卒業)

大分大学同窓会連合会の設立ならびに機関紙の創刊、誠にありがとうございます。ご尽力頂いた関係各位に心より感謝申し上げます。大分大学と旧大分医科大学の合併後より、大学と各同窓会の連携を取るべく活動をしてまいりましたが、今回、このような形でさらに発展することにとても嬉しく思っております。私ども桜樹会は、他の同窓会様に比べますと歴史の浅い会でございます。諸先輩方のお知恵とお力をお借りする機会がありますこと、そして母校大分大学の発展に寄与できることに、期待とともに尽力したいと思います。

### ■翔工会 会長 松尾 孝美 (昭和55年3月卒業)

工学部は7年後には創立50周年を迎えます。現在、12000名強の工学部卒業生および工学研究科修了生は、主にエンジニアとして社会の多方面で活躍しています。社会人になると、学部は異なっても、同じ大学の卒業生同士が意外な場所でお会うことが多々あり、懐かしさがこみ上げてくるものです。同窓会連合会の発足を機に、同じ大学卒業生として、新たな出会いと親睦を深めることができることを期待します。また、学部横断的な交流を深めるとともに、同窓生の絆によって総合力を結集し、大分大学の飛躍的な発展に努めていく覚悟です。

### ■九峰会 会長 安東 千秋 (平成16年3月修了)

今年4月に九峰会会長を承ることになりました。社会環境の変革はめまぐるしく、その変化の中で取り残されていく支援を必要とする人々に対して、いかなる方法でアプローチすれば支援の成果が現れるのか、結果を見通しながらの活動が困難になりつつあります。しかし、修了生をはじめとして、困難な中であって新たな支援の方策や資源を創出しながら、個人のニーズを解決しつつ、地域の福祉課題についても有効な支援システムを構築すべく、福祉や医療だけにとどまらず、司法などの専門職団体なども巻き込みながら、実践現場の資質向上に取り組んでいるところです。

## 連合会各同窓会のご案内

### ■豊友会 (現教育福祉科学部同窓会)

・昭和29年 大分大学学芸学部同窓会が発足。  
・昭和41年4月 大分大学教育学部同窓会と改名。  
・平成17年5月 同窓会名称を「豊友会」に改名。

同窓会も誕生して100年以上の伝統を誇り、その間母校の変革に呼应しながら組織強化を図り、同窓の絆を確かめ深めていきました。現在の学部になってすでに16年が経過し、卒業後の進路状況も大きく変化してきました。全国規模で幅広い業種にわたり活躍している現状です。多くの会員の皆様の相互交流や諸連絡、発信の共通理解を図る中で、同窓の絆や意志の結集を深めることができれば幸甚です。

### ■四極会 (現経済学部同窓会)

大正14(1925)年3月9日に大分高等商業学校同窓会が発足し、以後、大分経済専門学校同窓会、大分大学経済学部同窓会がそれぞれ発足。昭和32年5月5日に大分高等商業学校同窓会、大分経済専門学校同窓会及び大分大学経済学部同窓会を一本化として四極(しわす)会が発足した。平成20年12月1日に「一般財団法人四極会」として法人化した。現在、国内外に東京・関西・福岡など45支部が存在する。事業としては、年2回の会報「四極」の発行、会員名簿の作成、寄附講義等の経済学部への支援などを行っている。また、各支部でも支部会報発行や登山・囲碁大会等の親睦事業を行っている。なお、「四極会」の由来は、高崎山が古くは「四極山(しはすやま)」と呼ばれていたことによる。

### ■玉樹会 (現医学部医学科同窓会)

玉樹会は「大分医科大学同窓会」として1986年8月に設立、1994年8月には同窓会名を「玉樹会」とし、発足以来、会員相互の親睦を図り、会員の福利厚生、学術の発展、および母校の発展に尽くすことを目的として活動してきました。総会の開催、会誌の発行、会員名簿作成のほか、新入生歓迎会の開催、学生へのさまざまな援助、支部の設立、国試浪人生への学費貸与など活発な活動を行っております。現在母校の教授22人、他校の教授22人を輩出し、大分県下の主力病院の院長、部長職を担っています。

### 桜樹会 会員 藤本 和之 (平成12年3月卒業)

大分大学同窓会連合会設立おめでとうございます。看護学科は、平成26年をもって設立20周年を迎え、1200名余の卒業生を輩出しました。しかしながら、同窓会組織としてはまだまだ歴史が浅く、在学生や卒業生のお役に立てるよう日々奮闘しております。そのような中で大分大学の歴史ある学部の同窓会とつながる機会を得ることができ心強い限りです。同窓会間の連携により、母校の発展に寄与すべく、微力ながら応援いたします。

### 翔工会 会員 江口 正一 (昭和56年3月修了)

大分大学同窓会連合会の設立は、誠に有意義であり心からお慶びを申し上げます。連合会として各会の枠を越えた事業を実施できることは、誠に喜ばしく期待に満ちたものです。各会の使命や専門性を活用し密接な連携を図りながら、大分大学の卒業生や在学生の絆が繋がり、夢が広がり、知見を広める礎になれば幸いと存じます。県内唯一の国立大学としてその特色や強みを活かしながら、「地域活性化の中核的拠点」となるべく期待しています。

### 九峰会 会員 衛藤 真紀子 (平成19年3月修了)

「九峰会」と大分大学の各学部同窓会とが連合し、大分大学同窓会連合会を設立されたとのこと、心よりお祝い申し上げます。私は、平成17年に社会福祉コースを、平成19年に福祉社会科学研究科を卒業しました。大学院への進学は、自分自身の関心事だった「自立」という概念についてより深めたかったということがきっかけでしたが、実際に進学してみて、社会人入学をされている様々な現場の方々、諸先輩方と出会えたことが今の仕事をする上で大変役立っていると感じています。「社会福祉」と一言で言っても、その範囲は非常に幅広く、取り扱う内容は多岐にわたります。それら必要とされる分野の知識・スキルを全て網羅することは、単独では困難ですが、同窓生や先輩方と情報交換をさせていただいたり、困った際に相談にのっていただくことで、カバーできることも多々あるかと思います。社会福祉の仕事をする上で非常に大事なことの1つに「人と人の関係性」に着目するということがあるかと思いますが、各同窓会が連合されることで、様々な方々との新たな出会い、新たなネットワークが生まれていくことを、期待しております。

学舎も同窓会発足期も異なる私たちですが、「大分大学の同窓」は共通です。それぞれの方々が、日々の仕事に生活に頑張っておいでです。その日々の中で、大学の今の様子や会員の方々のお話を聞きあうことで、何か違った見方や感じ方が生まれるとしたら、それは素晴らしい刺激になるのではと思います。そういう意味で、「連合会」の事業内容が、学生時代の一時期のみならず、仕事の期間、退職後の時間を含めて、学び続けて作用しあえる私たちへの啓発になればと願っています。